


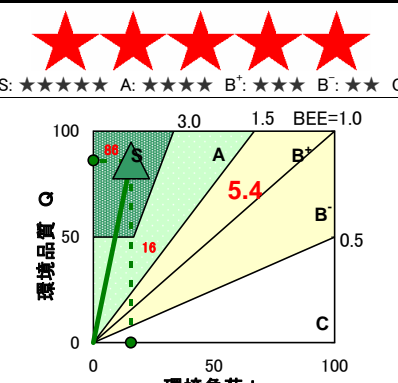
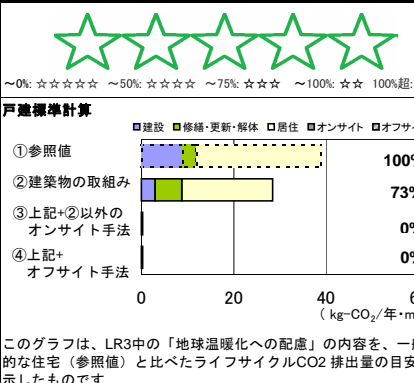
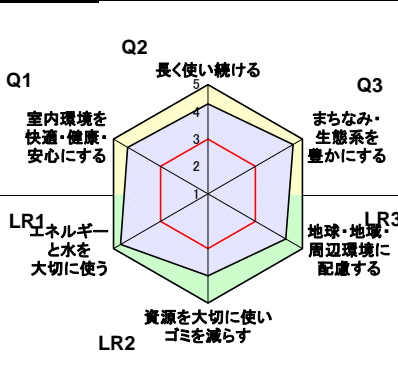
CASBEE[®] 戸建-新築

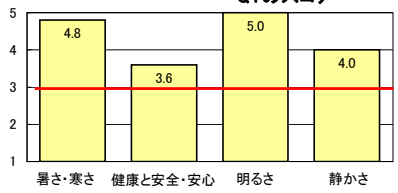
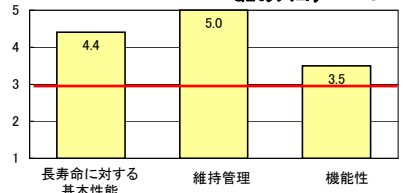
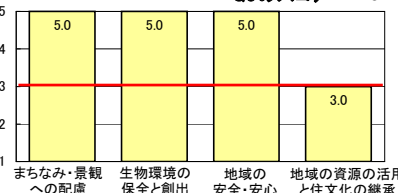
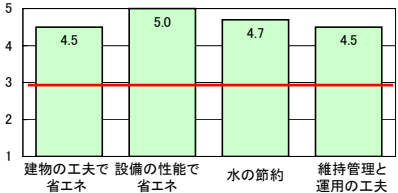
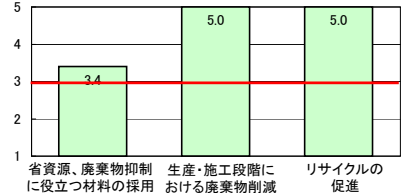
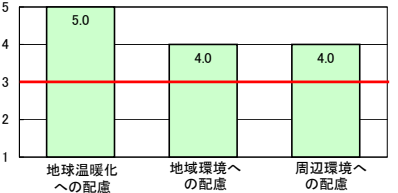
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE戸建-新築(2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE_DH-NC_2010v1.2

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	LCCM住宅 亀山モデル		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2009年3月	竣工		持ち込み家電等	確定
建設地	三重県亀山市			外構の仕様	確定
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定	<備考>		
省エネルギー地域区分	IV				
構造・構法	木質パネル構法	確定	評価の実施日	2012年1月13日	
階数	地上2F		作成者	前野逸美	
敷地面積	267 m ²	確定	確認日	2012年1月13日	
建築面積	73 m ²	確定	確認者	川上隆士	
延床面積	138 m ²				
世帯人数	4	確定			

2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
 <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B': ★★★★★ B: ★★ C: ★</p> <p>BEE=1.0</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p>	 <p>~0%: ★★★★★ ~50%: ★★★★★ ~75%: ★★★★★ ~100%: ★★★★★ 100%超: ★</p> <p>戸建標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	 <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>資源を大切に使いゴミを減らす</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする Q1のスコア=4.4</p> <p>Q2 長く使い続ける Q2のスコア=4.3</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする Q3のスコア=4.6</p>		
<p>暑さ・寒さ 健康と安全・安心 明るさ 静かさ</p> 	<p>長寿命に対する基本性能 維持管理 機能性</p> 	<p>まちなみ・景観への配慮 生物環境の保全と創出 地域の安全・安心 地域の資源の活用と住文化の継承</p> 
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う LR1のスコア=4.7</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす LR2のスコア=4.0</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する LR3のスコア=4.3</p>		
<p>建物の工夫で設備の性能で省エネ 設備の性能で省エネ 水の節約 維持管理と運用の工夫</p> 	<p>省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用 生産・施工段階における廃棄物削減 リサイクルの促進</p> 	<p>地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮</p> 

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>建物の断熱性、日射遮蔽性、通風・排熱性能の強化や、高効率設備機器の使用、太陽エネルギーの効率的利用により、年間のエネルギー収支をゼロ以下とし、住宅の製造・建設時に排出するCO₂をライフサイクルの中で回収できる住宅(LCCM住宅)を目指す設計とした。</p>		<p>その他</p> <p>ヒートポンプ式パネルルーバー放射冷暖房により省エネで、かつ快適な室内空間を創り出す。季節によって異なる風環境や熱放射環境を緩和するように、シミュレーションに基づいて樹木配置した。</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>120mm厚外壁パネルの外側に、さらに100mmの断熱層を付加する「付加断熱システム」と、基礎断熱を採用し、熱損失係数は1.17W/m²K。夏季の日射遮蔽性、通風・排熱性の強化を目的として、「ブラインドシャッター」や「欄間建具」を採用。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>構造躯体については、劣化対策等級3に準拠、制震装置「MGE」を採用して地震により強い構造に、外装材、屋根材、給水、給湯配管は更新性を高める仕様に、定期巡回システム、お客様相談センター、顧客情報活用システムを構築している。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>外構・造園は緑の連続、多種な樹木、樹高の高い落葉樹、溶岩ブロックの採用により、生物環境の創出を行い、生物多様性に配慮、樹木の効果的な配置と、リサイクル材による外構部材設置により、近隣の街並み調和に配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>合計8.6kWの太陽発電システムを南北の屋根全面に設置して建物の方位に影響されなくした。太陽発電モジュールのセル以外の部分を透明にして、モジュール裏面に透過させた日射熱をファンで床下に搬送して太陽熱利用の床暖房として使用し、暖房負荷を削減している。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>屋根下地材、外壁材、断熱材、内部造作材、内装下地材、外構材にリサイクル材を用い、部材の生産工場はゼロエミッションを達成、建築現場では、基礎のコンクリート打設には、鋼製型枠を用いた。また副産物の分別回収に取り組んだ。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>外構・造園には地域の生態系に適した樹木を選定し、生物多様性に配慮した。溶岩ブロックの採用により、降雨の敷地への浸透に配慮、また、雨水を貯留して、スプリンクラーで草木への散水や打ち水に利用できるようにした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (すまいの環境品質)、L: Load (すまいの環境負荷)、LR: Load Reduction (すまいの環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (すまいの環境効率)
 ■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE戸建-新築の場合、BEE_{II}、Q_{II}、LR_{II}などとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
 ■「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す